

祝 辞

神商同窓会を代表して祝辞を申し上げます。

兵庫県立神戸商業高等学校第 139 回生のみなさんご卒業誠にありがとうございます。

さて、我が県商の歴史は古く明治 11 年に開学された『神戸商業講習所』にさかのぼり、以来、明治、大正、昭和、平成の時代を経て本日、令和初めての卒業式を迎えることになりました。その間、母校より多くの優れた人材を世の中に送り出し、我が国の経済政治文化の発展に大きな功績を果たして参りましたが、ここでその偉大な卒業生のお一人を紹介させていただきます。

同窓会では毎年発行の会報誌で偉大な卒業生を「県商の誇り」として取り上げており、今春発行第 142 号誌ではマルクス経済学者の神戸大学名誉教授・置塩信雄先輩(63 回生)を紹介させて頂いております。

置塩先輩は今から約 80 年程前の昭和 16 年、県商に入学、神戸高商から敗戦を挟み、現在の神戸大学の前身であった神戸経済大学に進み、学部卒業後も新制神戸大学の助手として迎えられそこでマルクス経済学の研究に没頭するも、マルクス経済学の主要な命題である「利潤率の傾向的低下の法則」を否定する論文を発表し、世界的な論争に発展、その結果、『置塩の定理』が認められ、神戸大学に置塩ありとの名声を残されましたが、これまであった法則を覆すことは並大抵のことではありません。『置塩の定理』の誕生は周りに流されること無く強い意志のもとで自分の信念を貫かれた置塩先輩の偉業であり、偉大な先輩の存在に尊敬と憧れを、そして、私自身、このような先輩の後輩であることに大変誇りを持っている次第です。

ところで、本日この学び舎を巣立つ卒業生 259 名の皆さんは、人生に置ける貴重な歳月となる高校生活 3 年間を終えられ、これからはそれぞれの目標に向かって進んでいくことになります。

これから開けゆく皆さんの第 2 のステージは親から授かった命の尊さをかみ締めながら両足をしっかり大地につけて一步一步力強く前進して下さい。

そして、県商で学んだことに大きな自信と誇りを持ち、県商でお世話になった先生を人生の師として、又、苦しみも喜びも分かち合った友達を人生の友としてこの二つの大切な宝物を胸に未来は無限の可能性に満ちていることを信じて大きく羽ばたいて下さい。

結びに、今日まで手塩にかけてここまでお育て頂いた保護者の皆様には心よりお祝いを申し上げます。又、校長先生をはじめ諸先生方のご指導ご功勞に対して改めて敬意を表したいと存じます。

そして、県商のますますの発展と卒業生の皆様の輝ける将来並びにご活躍を祈念申し上げ簡単粗辞ではございますが祝辞とさせていただきます。

令和 2 年 2 月 28 日

一般財団法人神商同窓会

理事長 大野美代子